

令和3年度 年 報

■ 目 次 ■

◆ 目的及び事業	2
◆ 令和３年度事業概要	
Ⅰ 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
Ⅱ 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業	4
(2) 常設展の展示構成	5
Ⅲ 教育普及事業	6
Ⅳ 北海道文学に関する調査研究事業	8
Ⅴ 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	8
Ⅵ 啓発広報事業	8
Ⅶ 刊行物の刊行事業	8
Ⅷ その他の付帯事業	8
◆ 統計・資料	
Ⅰ 令和３年度 展覧会別観覧状況	9
Ⅱ 令和３年度 事業別利用状況	9
Ⅲ 令和３年度 資料収集状況	10
◆ 組織及び職員	
Ⅰ 組織機構図	11
Ⅱ 職 員	11
◆ その他	
Ⅰ 文学館の歩み	12
Ⅱ 運営日誌	15
Ⅲ 公益財団法人北海道文学館役員等名簿	18

■ 目的及び事業 ■

●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあっては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

(休館日)

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

2 大学等（大学その他規則で定める学校をいう。以下同じ。）は、その学生が博物館に展示する資料（常設展示に限る。）を観覧する場合の利用料金として、年間利用料金を指定管理者に納めることができる。

3 前2項の規定により指定管理者に納められた利用料金及び年間利用料金（以下この条において「利用料金等」という。）は、指定管理者の収入とする。

4 利用料金の額は別表第1に定める額の範囲内、年間利用料金の額は別表第2に定める額の範囲内において、それぞれ指定管理者が知事の承認を受けて定める。これらを変更しようとするときも、同様とする。

別表第1（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	500円	1人に 330円 つき
2 1以外の者(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。)	960円	1人に 800円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			103,980円
講堂	15,030円	17,350円	26,640円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	1,430円	1人に 1,240円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	2,360円	1人に 1,750円 つき
3 1及び2以外の者(学齢に達しない者を除く。)	3,580円	1人に 2,780円 つき

■ 令和 3 年度事業概要 ■

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等） 769 点
 寄贈資料受入れ総数（同上） 8,478 点
 9,247 点
 整理・保存 収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
 閲覧 利用者 延 1,161 人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
常設展 北海道の文学	通年 (186日間)	2,312	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料約 1,350 点を紹介。 (◎展示構成を次頁に掲載。)
特別展 太宰治－創作の舞台裏	4/17(土) ～ 4/30(金) (12日間)	735	太宰治は、青森県金木村に、大地主の六男として生まれた。破滅的な生活を送りながらも 39 年の短い生涯において生み出された数々の名作は、時代を超えた感性をそなえ、幅広い読者を得ている。本展では、日本近代文学館が所蔵する「太宰治文庫」を中心に厳選した直筆原稿やノートなどの資料により、作品成立にいたるまでの「創作の舞台裏」を紹介した。
特別展 天災地変人禍に抗して －北海道の災害と文学－	7/13(火) ～ 8/22(日) (36日間)	959	2011 年 3 月 11 日の東日本大震災から 10 年が経過した。近年は「過去に例を見ない」台風・集中豪雨なども続発している。北海道の歩みも常に災害にさらされてきた。地震・津波・台風・豪雨・噴火などの天災地変に加えて、地理的に過酷な自然環境、近代化を急ぐゆえの人為的惨禍に多くの命が失われてきた。本展では北海道の災害の記録を振り返るとともに、被災の現実に向き合い、多彩な作品へと結実させてきた表現者たちの営為を紹介した。
ファミリー文学館 彫り続けた北の自然 －絵本画家・手島圭三郎の 40 年	8/28(土) ～ 10/17(日) (44日間)	2,825	北海道に生まれ、北海道の自然を木版画に彫り続けた手島圭三郎の 40 年の足跡を振り返った。日本絵本賞を受賞した『しまふくろうのみずうみ』や、幻想的な『ふぶきのとり』など豊かな北の生き物たちへの生の賛歌をお楽しみいただいた。
特別展 小説挿絵の魅力 －文芸作品に伴走して	10/30(土) ～ 12/19(日) (45日間)	1,504	新聞や雑誌などの連載小説はじめ、文芸作品にはさまざまな挿絵が添えられている。挿絵は物語の一場面を図示するとともに、読者のイメージを広げるなど重要な役割を担うものである。洗練された線描で人物の息づかいや臨場感を生き生きと伝えるすぐれた挿絵には、画家たちの豊かな感性が示され美術作品としても高く評価されている。本展では、戦後から現代までの新聞連載小説につけられた数々の挿絵原画に焦点をあて、肉筆原稿や書籍などの各種資料と対比しつつ、文芸作品に伴って生み出された挿絵の魅力にさまざまな角度から迫った。
特別展 「よみがえれ！ とこしえの加清純子」 再び	1/22(土) ～ 3/21 (月・祝) (51日間)	2,338	渡辺淳一『阿寒に果つ』のヒロインのモデルとして知られる加清純子は、天才少女画家として注目され、さらに同人誌に鮮烈な小説や詩を発表。しかし突如、阿寒山中で 18 歳の生涯を閉じる。 2019 年の加清純子展に続き、今回初公開の絵画 14 点を加え、その希有な才能、第二次大戦後の反権威世代の青春を改めて見つめ、併せて、姉の作品を守り伝えた弟・詩人の暮尾淳の人間味あふれた抒情詩の世界を紹介した。

【常設展アーカイブ】

- ・第1期展示 [4月10日(土)～4月30日(金)]

文学者たちの愛した品々

船山馨、中沢茂、原田康子、森田たまなど、作家たちの愛用品及び文学資料を展示。

- ・第2期展示 [7月13日(火)～10月17日(日)]

小山内龍が遺した漫画・絵本・挿絵の世界

函館生まれの漫画家・絵本画家の短いながら、確かな足跡を遺した作品群を紹介。

- ・第3期展示 [10月22日(金)～12月26日(日)]

文学者たちの色紙

当館所蔵の豊富な資料から、「色紙」に注目し各ジャンルの中から紹介。

- ・第4期展示 [1月19日(水)～3月13日(日)]

有島武郎の「星座」

明治の札幌農学校の学生たちを描いた未完の小説「星座」の世界を紹介。

※特別展「太宰治－創作の舞台裏」(4月17日～6月6日)と特別展「天災地変人禍に抗して－北海道の災害と文学－」(6月9日～8月15日)、常設展アーカイブ「文学者たちの愛した品々」(4月10日～7月4日)は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館等のため、会期を縮小及び変更した。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良ほか〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」原稿、北方謙三「林蔵の貌」原稿、高倉新一郎『覆刻札幌農学校』 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独步「欺かざるの記」原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」原稿、石川啄木「雲は天才である」原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」原稿、森田たま「きもの博士」原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」原稿、久保栄「火山灰地」原稿、本庄陸男「逆流」原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」原稿、中村武羅夫色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」原稿、石塚喜久三『花の海』、坂本直行カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」原稿、風巻景次郎「札幌地理学」原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」原稿、李恢成色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆)、高橋揆一郎『「伸子」覚え書き』原稿 ◆変転する現代 渡辺淳一「リラ冷えの街」原稿、北海道ゆかりの芥川賞・直木賞受賞作家と作品 ◆文学マップ「小説の中の北海道」

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

知里幸恵、金成マツ、金田一京助、知里真志保、バチェラー八重子、森竹竹市、萱野茂、遼星北斗、鳩沢佐美夫

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元「北の墓標」原稿、吉村昭「北天の星」原稿、李恢成『サハリンへの旅』、寒川光太郎「(オロコ族)」原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」扁額、小熊秀雄「裸婦」原画 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二月月」原稿、和田徹三「命」原稿、河邨文一郎「オホーツク」原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井広治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その

主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、齋藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島藤六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 齋藤玄、寺田京子、比良暮雪、佐々木丁冬ほか ◆俳句の現代 鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治より昭和（前期）まで 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西島〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和 20 年代より平成 7 年まで 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆現在の活動状況 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和 20 年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和 30 年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和 40 年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

Ⅲ 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担事業。※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期（日数）	目標観覧（参加）者実績数（人）	観覧（参加）者実績数（人）	観覧（参加）率	備考
講演会・セミナー・講話等	文芸講演会Ⅰ「太宰治の『右大臣実朝』を考える」 講師：工藤正廣（当館館長）	5月8日（土）	20	中止		「太宰治」展 関連事業
〃	文芸講演会Ⅱ「太宰治 防空壕・やはり歌幻想」 講師：中澤千磨夫（北海道武蔵女子短期大学教授）	5月16日（日）	20	中止		〃
〃	朗読会「太宰治を読む」 朗読：村井裕子（フリーアナウンサー）、藪淳一（〃）	5月30日（日）	20	中止		〃
〃	上映会「真白き富士の嶺」	5月23日（日）	20	中止		〃
〃	見どころ解説 講師：当館学芸員	4月22日（木） 5月20日、27日、6月3日 中止	20	18	90.0%	〃
〃	講演会Ⅰ「災害と社会」（オンラインを含む） 講師：外岡秀俊（ジャーナリスト、作家） （対面及びオンライン実施）	7月22日（木・祝） 7月30日（金）～8月22日（日）	20	53	265.0%	「天災地変人禍 に抗して」展 関連事業
〃	講演会Ⅱ「記憶と記録の北海道災害史」 講師：合田一暁（ノンフィクション作家）	7月23日（金）	20	21	105.0%	〃
〃	朗読会「『石狩平野』と『泥流地帯』を味わう」 朗読：安藤千鶴子（朗読表現講師）	7月25日（日）	20	23	115.0%	〃
〃	シリーズ講座「船山馨と石狩川洪水」ほか 講師：谷口雅春（ライター・エッセイスト）ほか	7月31日（土） 7月18日、8月15日 中止	40	16	40.0%	〃
〃	講演会「北の自然と私の絵本」 講師：手島圭三郎（絵本画家）	9月4日（土）	25	24	96.0%	「ファミリー文学館」展 関連事業
〃	朗読とハーブで綴る「手島圭三郎の絵本の世界」 出演：北のやまねこ朗読倶楽部、熊井芳美（ハーブ奏者）	10月2日（土）	25	20	80.0%	〃
〃	読み聞かせ「手島圭三郎 北の自然と生き物たち」 出演：当館職員	10月17日（日）	25	14	56.0%	〃
〃	文芸サロン「日本画家の私が描く挿絵」 講師：羽生輝（日本画家、本展出品作家）	11月6日（土）	25	26	104.0%	「小説挿絵の魅力」展 関連事業
〃	特別講座「小磯良平の小説挿絵の魅力」 講師：金澤聡美（小樽芸術村学芸員）	11月21日（日）	25	22	88.0%	〃
〃	上映会「古都」	12月11日（土）	25	26	104.0%	〃
〃	見どころ解説 講師：当館学芸員	11月18日（木）、25日（木）、 12月2日（木）	25	14	56.0%	〃
〃	オンライン・オープニング・セレモニー	1月22日（土） ～3月21日（月・祝）	0	760		「『よみがえれ！ とこしえの加清 純子』再び」 展関連事業

事業項目	事業名	実施時期（日数）	目標観覧（参加）者数（人）	観覧（参加）者実績数（人）	観覧（参加）率	備考
講演会・セミナー・講話等	記念講演会1「わたしの記憶－加清純子の時代」 講師：荒巻義雄（SF作家）（オンライン実施）	2月1日（火） ～3月21日（月・祝）	25	177	708.0%	「「よみがえれ！ とこしえの加清 純子」再び」 展開連事業
〃	記念講演会2「淳一と純子－1950年の札幌の青春を歩く」 講師：谷口孝男（北海道文学館理事）（収録動画及びオンライン実施）	2月11日（金・祝） 2月22日（火）～3月6日（日）	25	89	356.0%	〃
〃	記念講演会3「加清純子作品の保存修復の実際」 講師：土屋裕子（東京藝術大学保存修復油画研究室教授） （オンライン実施）	2月20日（日）	25	17	68.0%	〃
〃	朗読会「加清純子をめぐって」 朗読：宮下郁子（朗読講師）	3月5日（土）	25	25	100.0%	〃
〃	上映会「もうひとつの『阿寒に果つ』」	3月11日（金）、3月12日（土） 各日2回上映	80	95	118.8%	〃
〃	見どころ解説 講師：当館学芸員	2月17日（木）、 24日（木）、3月3日（木）	20	29	145.0%	〃
夏休み文学道場	「中・高生のための創作講座」（オンライン開催）	7/28（水）、8月11日（水）	30	7	23.3%	
小・中・高生短歌コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、当館ロビーに作品展示	募集7月1日（木）～9月7日（火） 展示12月4日（土）～1月16日（日）	6,200	6,087	98.2%	
ファミリー文学館	ワークショップ「箱の中に北の自然をつくろう！」	9月20日（月・祝）	100	中止		
わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	6回開催（9回中止） 10/3, 11/7, 12/5, 12/12, 12/19, 3/6	450	57	12.7%	
映画鑑賞会	「風と樹と空と」	5月2日（日）	50	中止		
映画鑑賞会	「ラストゲーム 最後の早慶戦」	10月10日（日）	50	17	34.0%	
映画鑑賞会	「東京公園」	11月28日（日）	50	24	48.0%	
映画鑑賞会	「どろ平太」	2月13日（日）	50	19	38.0%	
市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	19市町村19会場	1,200	584	48.7%	
市町村連携事業 「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	3市町村3会場	2,000	11,401	570.1%	
文字・活字文化の 振興事業	講演会「心を癒やす短歌」 講師：田中綾（北海学園大学教授）	10月31日（日）	60	24	40.0%	
古典の日記念朗読会	朗読：堀きよ美（カムイプロジェクト代表） 演奏：黒田拓（薩摩琵琶奏者）、村場踊（乱拍子）	11月3日（水・祝）	60	25	41.7%	
月例朗読会	朗読：朗読表現 ゆうの会 ほか	5回開催（5回中止） 10/14, 11/11, 12/9, 2/10, 3/10	500	117	23.4%	
文化施設連携事業	「カルチャーナイト2021」 展示室の夜間開館、朗読会、手作りコーナー等を実施	7月16日（金）	200	オンライン 参加		
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年（186日間）	2,400	1,161	48.4%	
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用（貸館）	通年（186日間）		144		
負担金事業計			13,900	21,136	152.1%	
※ 文学館カレッジ	・北海道文学アラカルト、児童文学創作教室Ⅲ、絵本を学ぼう、生涯読書会の4講座	6～3月	450	223	49.6%	
※ 文学館カレッジ講演会		5～3月	100	中止		
※ ロビーコンサート		11月1日（月）～7日（日）	100	中止		
※ 中島公園 ぶんがく縁日	同人誌・図書等のフリーマーケット、講演会等	10月9日（土）、10日（日）	100	中止		
※ ぶらり札幌文学散歩	身近な土地と文学の関わりを解説	6月、9月、10月	30	中止		
※ 文学館まつり	開館記念朗読会「宮沢賢治の世界を朗読とギター演奏で…」	9月23日（木・祝）	150	23	15.3%	
※ ロビー展示	文学への関心等を促すため収蔵品資料等を展示	4/10～4/30、 7/13～7/25、 8/1～8/31、 9/8～11/14、 1/22～3/13 全5回	0	3,560		
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年（186日間）	100	13	13.0%	
※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	600	80	13.3%	
財団企画事業計			1,630	3,899	239.2%	
合計			15,530	25,035	161.2%	

Ⅳ 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別展「太宰治－創作の舞台裏」展関連資料調査
- ② 特別展「天災地変人禍に抗して－北海道の災害と文学－」展関連資料調査
- ③ ファミリー文学館「ファミリー文学館 彫り続けた北の自然－絵本画家・手島圭三郎の40年」展関連資料調査
- ④ 特別展「小説挿絵の魅力－文芸作品に伴走して」展関連資料調査
- ⑤ 特別展「『よみがえれ！とこしえの加清純子』再び」展関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度のファミリー文学館「花・彩々－文学の中に咲く－」展関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「地図と文学の素敵な関係」展関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「金子みすゞの世界」展関連資料調査
- ⑩ 次年度の特別展「歿後10年吉本隆明－廃墟からの出立」展関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「細谷源二と齋藤玄 北方詩としての俳句」展関連資料調査

Ⅴ 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援並びに共催により支援した。

- ① 中川町教育委員会
斎藤茂吉記念第28回中川町短歌フェスティバル
(令和3年6月1日～10月29日 中川町)
- ② 特定非営利法人 絵本・児童文学研究センター
第25回文化セミナー「明日の物語」
(令和3年11月23日 小樽市民ホール)
- ③ 市立小樽文学館
生誕120年 詩人・沙良峰夫展
(令和3年10月2日～11月28日 市立小樽文学館)
- ④ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室
朗読とハーブ～祈りと希望をフィギュアスケート・メロディーにのせて
(令和3年11月30日 札幌市時計台ホール)
- ⑤ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室
セント・パトリックス・デー 朗読とハーブ
(令和4年3月17日 札幌市時計台ホール)

Ⅵ 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催をPRするため、新聞紙上で有料広告のほかTVスポットCMを行った。
- ② 「北海道文学館報」第125号(5月28日付)、第126号(10月1日付)、第127号(12月2日付)、第128号(3月4日付)を発行した。

Ⅶ 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「天災地変人禍に抗して－北海道の災害と文学－」展図録の刊行
- ② 特別展「小説挿絵の魅力－文芸作品に伴走して」展図録の刊行
- ③ 特別展「『よみがえれ！とこしえの加清純子』再び」展図録の刊行

Ⅷ その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受入
令和3年8月31日～9月7日(6日間)、実習生4名
令和4年1月25日～2月1日(6日間)、実習生3名

統計・資料

I 令和3年度 展覧会別観覧状況

単位：名

区 分			常設展	特 別 展					計
			北海道の文学	太宰治展	天災地変人禍に 抗して展	ファミリー 文学館	小説挿絵の 魅力展	加清純子 再び展	
開催日数			186	12	36	44	45	51	
有 料	個 人	一 般	228	498	427		337	1838	3,328
		高大生	71	54	32		27	26	210
		小中生	1	13				8	22
		小 計	300	565	459		364	1872	3,560
	団 体	一 般	241	50	33		110	160	594
		高大生	57	9	5		25	21	117
		小中生						1	1
		小 計	298	59	38		135	182	712
	免除・招待		1,714	111	462	2,825	1,005	284	6,401
観覧者総数		2,312	735	959	2,825	1,504	2,338	10,673	

II 令和3年度 事業別利用状況

単位：名

区分		月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
負担金事業	展覧会事業	常設展	257	0	0	137			385	514	297	194	177	351	2,312
		太宰治展	735	0	0										735
		天災地変人禍に抗して展				445	514								959
		ファミリー文学館					94	1,290	1,441						2,825
		小説挿絵の魅力展							99	813	592				1,504
		加清純子再び展										269	582	1,487	2,338
	教育普及事業	小計	992	0	0	582	608	1,290	1,925	1,327	889	463	759	1,838	10,673
		講演会・セミナー・講話等	18			113		24	34	58	30	149	416	627	1,469
		夏休み文学道場				4	3								7
		小中高生短歌コンテスト						5,514			297	276			6,087
		映像作品鑑賞のつどい							17	24			19		60
		地域連携事業 「文学館出前講座」				257	31	11	116	156	13				584
		地域連携事業 「ミニ巡回展」					5,401			6,000					11,401
		文字活字文化振興事業							24						24
		古典の日記念朗読会								25					25
		月例朗読会							24	27	24		23	19	117
		わくわくこどもランド							7	19	24			7	57
		文化施設連携事業 カルチャーナイト 2021	オンライン参加												
		文学資料の利用 (資料閲覧・共同研究)	140			43			253	209	146	136	95	139	1,161
		小計	158			417	5,435	5,549	475	6,518	534	561	553	792	20,992
文学愛好団体の文学活動					15	19	16	22	27	27	10	8	144		
計	158			417	5,450	5,568	491	6,540	561	588	563	800	21,136		
負担金事業計	1,150			999	6,058	6,858	2,416	7,867	1,450	1,051	1,322	2,638	31,809		
自主企画事業	教育普及事業	文学館カレッジ			36	21	35	39	41	2	20	19	10	223	
		ロビーコンサート													
		中島公園ぶながく縁日													
		ぶらり文学散歩													
		文学館まつり (9/23)						23						23	
		ロビー展示	51			282	311	534	1,153	508		128	295	298	3,560
		文学館探検クイズ	3						6	1	3				13
		文化公演の活動 (コンサート、朗読会)					13		49					18	80
		自主企画事業計	54			318	345	592	1,247	550	5	148	314	326	3,899
	ボランティア活動状況							6	3	3		2	4	18	
貸館「辻井京雲書の世界」											611			611	
その他 (喫茶コーナー)		94			61	62		214	126	82	97	86	163	985	
合 計		1,298			1,378	6,465	7,450	3,883	8,546	1,540	1,296	1,724	3,131	37,322	

※ 5月1日～7月11日 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

Ⅲ 令和3年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

区 分	購 入	寄 贈	合 計
図 書 資 料	465	4,305	4,770
雑 誌 資 料	295	3,028	3,323
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	0	0	0
特 別 資 料	9	1,145	1,154
計	769	8,478	9,247

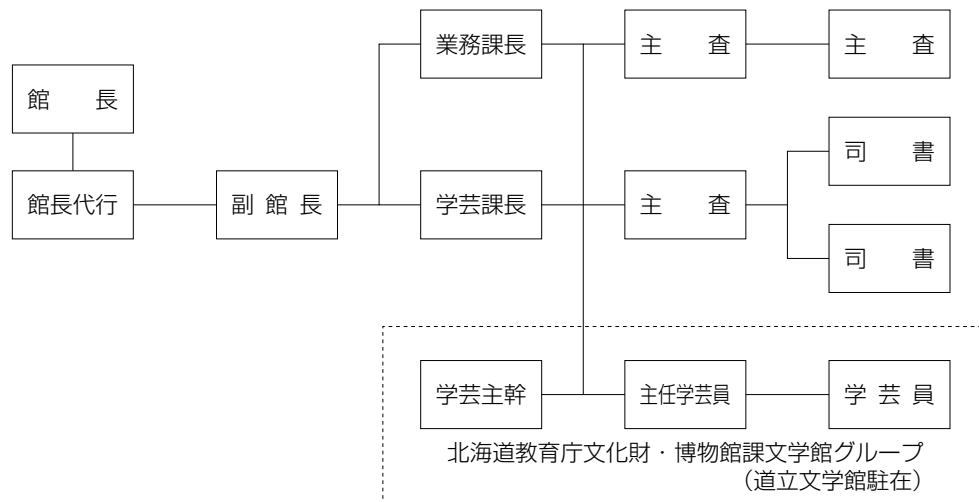
〈主な収集特別資料〉

小山内龍直筆画（花と蝶）	1点購入
森田たま自筆原稿（400字詰5枚）	1点購入
百田宗治自筆原稿（220字詰25枚）	1点購入
久保栄自筆色紙「木曾人のセリフの隙を…」	1点購入

財団法人北海道文学館への寄贈	
伊藤凍魚自筆資料（短冊など）	11点受贈
川村湊資料（書簡、絵葉書など）	966点受贈
加清純子関係絵画作品	18点受贈
辻井京雲書作品	2点受贈
	ほか

■ 組織及び職員 ■

I 組織機構図



II 職員

(令和4年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
館長	工 藤 正 廣	学芸課 司 書	三 井 沙 紀
館長代行 (財団副理事長)	武 田 信 吾	学芸課 司 書	佐々木 啓 子
副館長 (財団専務理事)	野 村 六 三	北海道教育庁文化財・博物館課 文学館グループ(道立文学館駐在)	
業務課 課 長 (財団常務理事)	高 塚 信 之		
業務課 主 査	佐々木 孝 夫		
業務課 主 査	斎 藤 和 巳		
学芸課 課 長	苫 名 直 子		
学芸課 主 査	丹伊田 範 子	学芸主幹	光 岡 幸 治
		主任学芸員	吉 成 香 織
		学芸員	寺 地 亜 衣

■ そ の 他 ■

I 文学館の歩み

年 次	事 項	年 次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展		「核」30周年記念展、和田謹吾理事長就任
43	文学に見る北方風物展	62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展
44	北海道旅の文学展	63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文化賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展	平成元	胆振文学展・目で見える風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展（札幌、旭川）
46	北海道詩歌展	2	児童文学「新十津川物語」展（札幌、新十津川）、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新壘」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
47	目で見える札幌文学散歩	3	市町村文学誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念斎藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展	4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記（室蘭）、北の文学風物誌展（冬の巻）、らいらく文学賞展
49	文学に見る札幌風景展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展	5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
50	札幌の作家展（戦前の巻）、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展（戦後の巻）、川柳に見る戦後の札幌展	6	文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展
51	碑に見る北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展	〔北海道立文学館〕	
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展	7	北海道立文学館管理運営業務開始（財団法人北海道文学館受託）
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展		北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち（澤田誠一理事長就任）
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行	8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——		
56	雑誌「北方文学」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		
57	木島健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学に見る北方風物展、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞		
61	日本の文学館風景展、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌		

年 次	事 項	年 次	事 項
9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔		次郎・里見淳と中戸川吉二～、企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～
10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代	19	特別企画展・太宰治の青春～津島修治であつたころ～、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と挿画～、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂～山田昭夫の書斎から～
11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』	20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のこぼさば・人のこぼさば 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望すー八木義徳
12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展	21	常設展プレミアム・特集「フロンティア」——60～70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子／いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。——アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む——遙か[樺太]の記憶企画展・藤倉英幸と旅のイメージ
13	特別企画展・夢の世界のおくりもの～アンデルセン童話・絵本原画展～、特別企画展・100年目の小熊秀雄～20世紀詩のヴァンギャルド～、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学	22	北海道立文学館指定管理者（財団法人北海道文学館指定） 常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展プレミアム、《川柳王国》北海道の軌跡、特別展、蘭繁之の手仕事～“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展～伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてビックリ！しかけ絵本展、特別展・吉村昭と北海道～歴史を旅する作家のまなざし
14	特別企画展・寺山修司展～テラヤマ・ワールド～きらめく闇の宇宙～、特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～、企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”～根室と霧と芸術家たち～（神谷忠孝理事長就任）	23	特別展・追悼・後藤竜二展～子どもたちへの応援歌～高田三郎・小泉るみ子兄妹展、特別展・日は過ぎ去って僕のみは～福永武彦、魂の旅～、ファミリー文学館・絵本の原画を運ぼう！～現代版北前船の旅 あべ弘士「かちかち山」、特別展・赤色エレジーから小梅の初恋～林静一展、常設展プレミアム・森田たまの交友録——書簡に見る文学者たちの筆跡、特別展・李恢成の文学、（公益財団法人北海道文学館に名称変更）
15	特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展 特別企画展・函館－青森海峡浪漫～〈北の20世紀〉を紡いだ作家たち～、企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～	24	常設展プレミアム・書物の美～明治・大正期の詩集～、特別展・いせひでこ・絵本の
16	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀 特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く——山田秀三の地名研究から——、企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神発生と展開～風巻景次郎から小笠原克へ～		
17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～、特別企画展・原田康子の北海道～小説「挽歌」から50年～、企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～		
18	北海道立文学館指定管理者制度開始（財団法人北海道文学館指定） 特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～、特別企画展・池澤夏樹のトポス～旅する作家と世界の出会い～、企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金		

年 次	事 項	年 次	事 項
	世界一私の木、心の木、ファミリー文学館 幻想文学館 文豪たちのこわ〜い話、特別 展・新美南吉誕生 100 年 ごんぎつねの世界、特別展・戦後北海道の演劇、特別展・ 高橋揆一郎の文学		特別展・没後 50 年 子母澤寛 無頼三代 蝦夷の夢、特別展・戦没画学生慰霊美術館 「無言館」展、特別展・極の誘ひ 詩人吉 田一穂展——あゝ麗はしい距離、ファミ リー文学館「大本靖の版画でたどる北海道 四季の風景」、特別展・北海道の俳句〜ど こから来て、どこへ行くのか〜 (平原一良理事長就任)
25	常設展プレミアム・木版画家・佐藤国男に よる宮沢賢治ワールド、特別展・紙芝居の 今昔、ファミリー文学館 絵本・カムイの 物語、特別展・挿絵が僕らにくれたもの ——ジブリが読み解く“通俗文化の源流” ——、特別展・ほっかいどうの短歌 100 首、特別展・荒巻義雄の世界——都市型宇 宙船ニュー・ユートピア・シティにむかって	令和元	特別展・よみがえれ！とこしえの加清純 子〜『阿寒に果つ』ヒロインの未完の青 春〜、特別展・歌川広重 ふたつの東海道 五拾三次〜保永堂版×丸清版〜、特別展・ ノンフィクション作家・保阪正康の仕事 ——「昭和史」との対話、ファミリー文学 館「人形劇からとび出した人形たち」、特 別展・砂澤ビッキの詩と本棚
26	北海道立文学館指定管理者（公益財団法人 北海道文学館指定） 「氷点」50 年 三浦綾子フォトメモリアル ——後山一朗が撮り続けた約束の刻、特別 展・FROM HAND TO HAND 手から手 へ展、特別展・ムーミンの世界展〜ヤンソ ンさんからの贈り物〜、ファミリー文学館 “うま”とあそぼう!!、特別展・小檜山博の 文学——野性よ退化する現代を撃て—— (工藤正廣理事長就任)	2	特別展・『ねないこだれだ』誕生 50 周年記 念 せなけいこ展、特別展・作家たちの交 差点——「北の話」が残した時間、ファミ リー文学館「おいしい！美味しい!! 文学」
27	特別展・没後 1 年・渡辺淳一の世界—— 『白夜』の青春 リラ冷えを往く、特別 展・挿絵の美・大衆文化の黄金時代——大 正イマジュリイの世界——、特別展・没後 50 年 文豪・谷崎潤一郎——愛と美を求 めて、ファミリー文学館 ネコ！ねこ！ 猫!!、特別展・「さとぼろ」発見 大正 昭和・札幌 芸術雑誌にかけた夢	3	特別展・太宰治—創作の舞台裏、特別展・ 天災地変人禍に抗して—北海道の災害と文 学—、ファミリー文学館「彫り続けた北の 自然—絵本画家・手島圭三郎の 40 年」、特 別展・小説挿絵の魅力—文芸作品に伴走し て、特別展・「よみがえれ！とこしえの加 清純子」再び
28	特別展・〈青春の記憶 夢みる力〉佐藤泰 志の場所(トボス)、特別展・ミッフィーの たのしいお花畑〜ディック・ブルーナが描 くお花と絵本の世界展、特別展・2016 年 の宮沢賢治——科学と祈りのこころ、ファ ミリー文学館・「ワン！ニャン！どっちも 大好き」、特別展・「手仕事の日本」と民藝 の思想		
29	特別展・ふみくらの奥をのぞけば——文学 館・珠玉の 300 選、特別展・「北方文芸」と 道内文学同人誌の光芒、特別展・《サハリン 島》2017——アントン・チェーホフの遺産、 ファミリー文学館「絵本の動物園へようこ そ」、特別展・有島武郎と未完の『星座』		
30	北海道立文学館指定管理者（公益財団法人 北海道文学館指定）		

Ⅱ 運営日誌

令和3年

- 4月10日(土) 常設展アーカイブ第1期「文学者たちの愛した品々」(～4月30日)
- 4月10日(土) 第1回ロビー展示「詩を描く表現者たち」(～4月30日)
- 4月17日(土) 特別展「太宰治－創作の舞台裏」オープン(～4月30日)
- 4月22日(木) 太宰治展 見どころ解説
- 5月1日(土) ～7月11日(日) 臨時休館
- 7月5日(火) ミニ巡回展「ワン！ニャン！どっちも大好き」(～8月23日)
- 7月13日(火) 特別展「天災地変人禍に抗して」オープン(～8月22日)
- 7月13日(火) 常設展アーカイブ第2期「小山内龍が遺した漫画・絵本・挿絵の世界」(～10月10日)
- 7月16日(金) カルチャーナイト2021(オンライン参加)
- 7月17日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会 小林秀雄『本居宣長』の長い旅に出ましょう！、講師：工藤正廣)
- 7月17日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう－外国絵本作家その2、講師：清水貴子)
- 7月20日(火) 文学館出前講座「絵本パフォーマンス」(函館市、講師：岸田典大)
- 7月22日(木) 講演会「災害と社会」(講師：外岡秀俊)
- 7月23日(金) 講演会「記憶と記録の北海道災害史」(講師：合田一道)
- 7月24日(土) 文学館カレッジ(北海道文学アラカルト、講師：青柳文吉)
- 7月24日(土) 文学館カレッジ(児童文学創作教室Ⅲ、講師：有島希音)
- 7月25日(日) 朗読会「『石狩平野』と『泥流地帯』を味わう」、朗読：安藤千鶴子
- 7月26日(月) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(鷹栖町、講師：クレヨンカンパニー)
- 7月27日(火) 文学館出前講座「親子・小学生向け手作り教室」(中川町、中川町職員)
- 7月28日(水) 夏休み文学道場(中・高生のための創作講座、講師：小路幸也)
- 7月31日(土) 文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(比布町、講師：クレヨンカンパニー)
- 7月31日(土) 講座「船山馨と石狩川洪水」(講師：谷口雅春)
- 8月1日(日) 第2回ロビー展示「＜走る＞文学」(～8月31日)
- 8月1日(日) ミニ巡回展「怪奇幻想文学館 文豪たちのこわーい話」(～8月31日)
- 8月4日(水) 文学館出前講座「絵本を読み直してみよう」(夕張市、講師：杉浦篤子)
- 8月11日(水) 夏休み文学道場(中・高生のための創作講座、講師：小路幸也)
- 8月21日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう－外国絵本作家その2、講師：杉浦篤子)
- 8月23日(月) 文学館出前講座「小津安二郎の世界」(秩父別町、講師：中澤千磨夫)
- 8月26日(土) ファミリー文学館「彫り続けた北の自然」(～10月17日)
- 8月28日(土) 文学館カレッジ(北海道文学アラカルト、講師：平原一良)
- 8月28日(土) 文学館カレッジ(児童文学創作教室Ⅲ、講師：有島希音)
- 8月31日(火) 博物館実習(～9月7日)
- 9月1日(水) 常設展アーカイブ第2期「小山内龍が遺した漫画・絵本・挿絵の世界」(～10月17日)
- 9月4日(土) 講演会「北の自然と私の絵本」(講師：手島圭三郎)
- 9月8日(水) 第3回ロビー展示「文学で描かれた秋・冬」(～11月14日)
- 9月17日(金) 文学館出前講座「愉快地に楽しく川柳入門」(札幌市、講師：岡崎守)
- 9月18日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会 小林秀雄『本居宣長』の長い旅に出ましょう！、講師：工藤正廣)
- 9月18日(土) 文学館カレッジ(絵本を学ぼう－外国絵本作家その2、講師：安藤理恵子)
- 9月23日(木) 開館記念朗読会(「宮沢賢治の世界を朗読とギター演奏で…」、朗読：工藤正廣、ギター：平原一良)
- 9月25日(土) 文学館カレッジ(北海道文学アラカルト、講師：平原一良)
- 9月25日(土) 文学館カレッジ(児童文学創作教室Ⅲ、講師：千葉朋代)
- 10月2日(土) 朗読会「朗読とハーブで綴る手島圭三郎の絵本の世界」(講師：北のやまねこ朗読倶楽部、熊谷芳美)

10月3日(日)	わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演:こぶたのぶーぶ)
10月7日(金)	文学館出前講座「愉快地に楽しく川柳入門」(東神楽町、講師:岡崎守)
10月10日(日)	第2回映像作品鑑賞のつどい「ラストゲーム 最後の早慶戦」
10月14日(木)	月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:朗読を楽しむ会)
10月16日(土)	文学館カレッジ(生涯読書会 小林秀雄『本居宣長』の長い旅に出ましょう!、講師:工藤正廣)
10月16日(土)	文学館カレッジ(絵本を学ぼうー外国絵本作家その2、講師:久保田知恵子)
10月17日(日)	読み聞かせ「手島圭三郎 北の自然と生き物たち」(講師:出光圭子)
10月18日(月)	文学館出前講座「愉快地に楽しく川柳入門」(杜鰐町、講師:岡崎守)
10月18日(月)	文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(古平町、講師:クレヨンカンパニー)
10月22日(金)	常設展アーカイブ第3期「文学者たちの色紙」(～12月26日)
10月22日(金)	公演「ギター旅～渋谷環・吉住和倫・梶浦靖晃ジョイントコンサート」
10月23日(土)	文学館カレッジ(北海道文学アラカルト、講師:岡崎守)
10月23日(土)	文学館カレッジ(児童文学創作教室Ⅲ、講師:升井純子)
10月23日(土)	文学館出前講座「昭和歌謡を読む なかにし礼、阿久悠」(京極町、講師:中澤千磨夫)
10月24日(日)	公演「ギター旅～渋谷環・吉住和倫・梶浦靖晃ジョイントコンサート」
10月29日(金)	ミニ巡回展「函館出身作家 佐藤泰志の青春」(～11月25日、函館市)
10月30日(土)	特別展「小説挿絵の魅力」オープン(～12月19日)
10月31日(日)	文字・活字文化の日関連事業講演会「心を癒やす短歌」(講師:田中綾)
11月3日(水)	古典の日記念朗読会「源氏物語」(出演:堀きよ美ほか)
11月6日(土)	文芸サロン「日本画家の私が描く挿絵」(講師:羽生輝)
11月7日(日)	わくわくこどもランド(親子で楽しむ人形劇、出演:お楽しみ劇場ガウチョス)
11月9日(火)	文学館出前講座「実演を交えた朗読の方法」(苫小牧市、講師:田村英一)
11月9日(火)	文学館出前講座「北海道映画史はじめのはじめ」(砂川市、講師:前川公美夫)
11月11日(木)	文学館出前講座「朗読と楽器演奏のコラボ」(雨竜町、講師:田村英一、佐藤洋一)
11月11日(木)	月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:ドラマチックリーディンググループさ・く・ら)
11月14日(日)	文学館出前講座「がらくた人形劇と影絵」(奥尻町、講師:クレヨンカンパニー)
11月18日(木)	文学館出前講座「昭和歌謡を読む なかにし礼」(由仁町、講師:中澤千磨夫)
11月18日(木)	特別展 見どころ解説
11月20日(土)	文学館カレッジ(生涯読書会 小林秀雄『本居宣長』の長い旅に出ましょう!、講師:工藤正廣)
11月20日(土)	文学館カレッジ(絵本を学ぼうー外国絵本作家その2、講師:柴村紀代)
11月21日(日)	特別講座「小磯良平の小説挿絵の魅力」(講師:金澤聡美)
11月25日(木)	特別展 見どころ解説
11月27日(土)	文学館カレッジ(北海道文学アラカルト、講師:五十嵐秀彦)
11月27日(土)	文学館カレッジ(児童文学創作教室Ⅲ、講師:升井純子)
11月28日(日)	第3回映像作品鑑賞のつどい「東京公園」
12月2日(木)	特別展 見どころ解説
12月4日(土)	第16回北海道小・中・高生短歌コンテスト作品展示(～1月16日)
12月5日(日)	わくわくこどもランド(手作り教室・ツリーをつくろう!講師:当館職員)
12月8日(木)	文学館出前講座「やさしい俳句入門ー実作も含めて」(様似町、講師:五十嵐秀彦)
12月11日(土)	上映会「古都」
12月12日(日)	わくわくこどもランド(手作り教室・すごろくをつくろう!講師:当館職員)
12月19日(日)	わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演:読み聞かせボランティア「トムテ」)
12月24日(金)	文学館カレッジ(児童文学創作教室Ⅲ、講師:升井純子)

令和4年

- 1月8日(土) 貸館「辻井京雲書の世界」(～1月16日)
- 1月15日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会 小林秀雄『本居宣長』の長い旅に出ましょう!、講師:工藤正廣)
- 1月19日(水) 常設展アーカイブ第4期「有島武郎の『星座』」(～3月13日)
- 1月22日(土) 特別展「『よみがえれ!とこしえの加清純子』再び」オープン(～3月21日)
- 1月22日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会 小林秀雄『本居宣長』の長い旅に出ましょう!、講師:工藤正廣)
- 1月22日(土) 文学館カレッジ(児童文学創作教室Ⅲ、講師:三浦幸司)
- 1月22日(土) 第4回ロビー展示「北海道ゆかりの文学 2021年の主な受賞者とトピックス」(～3月13日)
- 1月25日(火) 博物館実習(～2月1日)
- 2月1日(火) 記念講演会「私の記憶-加清純子の時代」(講師:荒巻義雄)(オンライン配信～3月21日)
- 2月10日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:糸の会)
- 2月11日(金) 記念講演会「淳一と純子-1950年の札幌の青春を歩く」(講師:谷口孝男)
- 2月13日(日) 第4回映像作品鑑賞のつどい「どら平太」
- 2月17日(木) 特別展 見どころ解説
- 2月19日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会 小林秀雄『本居宣長』の長い旅に出ましょう!、講師:工藤正廣)
- 2月20日(日) 記念講演会「加清純子作品の保存修復の実際」(講師:土屋裕子)
- 2月24日(木) 特別展 見どころ解説
- 2月26日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会 小林秀雄『本居宣長』の長い旅に出ましょう!、講師:工藤正廣)
- 2月26日(土) 文学館カレッジ(児童文学創作教室Ⅲ、講師:三浦幸司)
- 3月3日(木) 特別展 見どころ解説
- 3月5日(土) 朗読会「加清純子をめぐって」(朗読:宮下郁子)
- 3月5日(土) 公演「ギターと尺八の夕べ」(出演:菅原久仁義)
- 3月6日(日) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ、出演:読み聞かせボランティア「トムテ」)
- 3月10日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」(朗読:ドラマチックリーディンググループ蔵)
- 3月11日(金) 上映会「もうひとつの『阿寒に果つ』-氷の自画像を尋ねて」
- 3月12日(土) 上映会「もうひとつの『阿寒に果つ』-氷の自画像を尋ねて」
- 3月19日(土) 文学館カレッジ(生涯読書会 小林秀雄『本居宣長』の長い旅に出ましょう!、講師:工藤正廣)
- 3月26日(土) 文学館カレッジ(児童文学創作教室Ⅲ、講師:柴村紀代)

Ⅲ 公益財団法人北海道文学館役員名簿

(令和4年3月31日現在)

顧問	池澤 夏樹	加藤 幸子	木原 直彦	小檜山 博	神谷 忠孝	荒巻 義雄
	李 恢成	工藤 正廣				〈8名〉
参 与	加藤 多一	木村真佐幸	小杉 捷七	佐々木 譲	高畠 二郎	藤堂志津子
	永井 浩	原子 修	村田 俊秋	吉田 秋陽	辻脇 系一	谷 暎子
	出村 文理	野坂 幸弘	内田 弘	岡崎 守	本田 優子	酒向 憲司
	安高 誠吾					〈19名〉

役職員

理事長 1	平 原 一 良	監 事 1	中 村 孝 一 生	評 議 員 1	青 柳 文 吉
副理事長 2	柴 村 紀 代	// 2	森 一 生	// 2	阿知良 光 治
// 3	武 田 信 吾			// 3	石 本 裕 之
専務理事 4	野 村 六 三			// 4	飯 塚 優 子
常務理事 5	高 塚 信 之			// 5	植 松 美 由 紀
理 事 6	浅 川 泰 彦			// 6	岡 美 紗 緒
// 7	五十嵐 秀 彦			// 7	岸 美 千 代
// 8	國 松 明 日 香			// 8	熊 谷 ユ リ ヤ
// 9	澤 田 展 人			// 9	佐 藤 芳 行
// 10	瀬 戸 正 昭			// 10	柴 田 耕 平
// 11	高 橋 秀 明 夫			// 11	田 口 中 綾 一
// 12	立 花 峰 夫			// 12	田 村 英 岬
// 13	谷 口 孝 千 磨 夫			// 13	田 湯 文 三 恵
// 14	中 澤 館 康 子			// 14	寺 中 村 本 征 尚
// 15	中 成 前 川 公 美 夫			// 15	橋 日 盛 野 温
// 16	成 前 三 浦 幸 明 彦			// 16	日 盛 野 温
// 17	三 若 宮 由 美			// 17	盛 野 温
// 18	若 宮 由 美			// 18	平 横
// 19	和			// 19	
// 20				// 20	
// 21				// 21	

収集資料選定委員会

副 理 事 長	柴 村 紀 代	代 理
参 与	出 村 文 文 吉	理 司
評 議 員	青 柳 館 幸	
評 議 員	中 三 浦	
理 事		

企画検討委員会

理 事 長	平 原 一 良
副 理 事 長	柴 村 紀 代
副 理 事 長	武 田 信 吾
評 議 員	飯 塚 優 子
理 事	五十嵐 秀 彦
理 事	瀬 戸 正 昭
理 事	谷 口 孝 男
理 事	高 橋 秀 明
理 事	中 澤 千 磨 夫
理 事	野 村 六 三

令和3年度年報（令和5年2月発行）

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

北海道立文学館

〈指定管理者〉公益財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号
TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266